

与論島をどう活性化したらよいか

農学部生物資源化学科 3413220563 宮脇大城

今回、与論島に行き感じたことは自然がとても豊かできれいということだった。海の宝石とも呼ばれる与論島の海にとっても魅了された。与論島に到着する前から海がきれいというイメージはあったが予想を大きく上回るすごさだった。また観光に行きたくなるような場所だとも思った。

だが、観光をメインとする島にしては衛生面をもう少し徹底してもいいのではないかと思った。例えば、コンビニやスーパーなどでもトイレを充実させることである。飲食店やお土産店では様式で清潔感のあるトイレが設備されていたが、コンビニなどの誰でも使用するような場所であるのに和式で清潔感のないトイレが設備されていた。せっかく普段では見ることも感じることもできない素晴らしい自然が多くあるのに、いつでもきれいにできるトイレが汚いというのはもったいないと思った。また、ビーチに設備されているシャワールームにも気を配った方がいいと思った。シーズンが終わったからかもしれないが虫が入っており、床のコンクリートが少し気持ち悪い気がした。そこをほかの海水浴場よりもきれいにすることで与論島の常連になる人がもっと増加すると思う。

次に大切だと思ったのは、観光客を与論島に呼び込むことである。与論島という名前は知っていても、場所や特徴を知っている人は少ないと思う。私自身も与論島が鹿児島島の最南端の島ということや名物何かということを知らなかった。だから、与論島に来て黒糖焼酎のゆうせんや、もずくそば、アテモヤと呼ばれるフルーツなど多くの特産物に驚いた。これからは、そのような与論島の特産物を全国に知らせていく必要があると思った。そのきっかけづくりとして与論島でしかできないような観光の仕方をもっと確立したらもっと興味を持つ人が増加すると思う。そういうきっかけづくりの点では、与論島のリアル人生ゲームは素晴らしい企画だと思った。そこで、私が思ったのは水上コテージのようなものを作ることである。与論島といえばやはり海のきれいさと海亀が見られるということが最大の売りになると思う。それを満喫するのに水上コテージはうってつけだと思った。もし、実現することができれば様々な人から注目を集めることができ観光客の増加につながると思う。

最後に農畜産物には、これからも力を入れていくべきだと思った。TPP加入で海外の物資が調達しやすくなり、日本の農業は大ダメージを受けるかもしれない。だが、そのことで改めて日本の農産物の品質の良さに気付かされる人も多く出てくると思う。海外では少し高くても日本の食べ物を買う人が多い。

それはやはり味の良さがとびぬけているからだと思う。与論島のように自然環境が素晴らしい場所で育てられた種牛やサトウキビなどは日本の中でもトップクラスの味や品質だと思う。だから、これからも更なる品質向上を目指していけば農畜産物の活性化につながると思った。

今回、初めて与論島に行き自然に癒されるだけでなく与論島の人たちの温かさにも感動した。これからも与論島はますます活性化できると思う。観光客に対する小さな気配りと自然を十分に活かすことが鍵になると思った。また与論島に来る時間を作って観光に行きたいと思う。

